



# 「宮の沢」まちづくり通信

令和7年2月発行

## 宮の沢ミライ☆ラボ（ワークショップ、まち歩き）の 途中結果と次回ワークショップについてお知らせします！

### 宮の沢エリア全体の『まちづくり指針』策定プロジェクトがスタート！

宮の沢ミライ☆ラボは2023年度に始まり、昨年度は「歩行者にとって居心地がよく、歩きたくなるまちづくり」をテーマに、「宮の沢未来ビジョン」を作成しました。

今年度からは宮の沢エリア全体のまちづくりの方向性を示す『まちづくり指針』の策定を始めています。

#### 2023(令和5)年度

- ・意見交換、フィールドワークを経て、「居心地が良く歩きたくなる」『宮の沢未来ビジョン』を作成



宮の沢未来ビジョン

#### 2024(令和6)年度

- ・「宮の沢未来ビジョン」も踏まえ、宮の沢全体における『まちづくり指針づくり』を開始



ワークショップ

まち歩き

#### 2025(令和7)年度

- ・引き続き、『まちづくり指針』の内容を検討
- ・2025年度末に策定予定



まちづくり指針のイメージ  
(画像は、平岸まちづくり指針)

#### まちづくり指針って？

- ・「まちでの活動や暮らしをより良く」していくための「まちづくりの方向性」を示す計画となります。
- ・例えば、景観のルールや楽しい活動をみんなで行うための取組を整理する予定です。

### 今年度1回目のワークショップ結果を紹介！ 2024(令和6)年 11月20日(水)実施

「宮の沢全体」のまちの魅力・課題や将来イメージの検討について、参加者の皆さんからご意見をいただきました。これまでの地下鉄駅や宮の沢ふれあい公園周辺だけでなく、住環境、みどりや水辺空間など、多岐にわたる意見をいただきました。



#### 主なご意見

●：魅力 ●：課題

#### キーワード

都市と自然の バランスが 良いまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>●：自然と近接しながら地下鉄駅やバスターミナルなどがあって、生活利便性が高く住みやすい。</li> <li>●：数年後も住みやすい住環境の維持、空き家や空地への対応・活用など必要になりそう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住環境</li> <li>水とみどり</li> <li>都市機能</li> </ul>
みどりと水辺が 身近なまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>●：公園緑地や河川が近い。みどりと水の空間はコミュニティ形成の場にもなる。</li> <li>●：中の川公園(旧中の川)は憩いの場所になるため、もっと親水性や活用を高めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水とみどり</li> <li>コミュニティ</li> </ul>
景観を楽しめるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>●：宮の沢南緑地から、宮の沢エリア全体の眺望を楽しめる場所がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>景観</li> </ul>
空間を活用して 賑わいをつくるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>●：ちえりあ前広場や宮の沢ふれあい公園は、ウォークアブルの核となる場所である。</li> <li>●：ちえりあ～白い恋人パークは、花やキャンドルなどで魅力的なストリートにできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォークアブル</li> <li>オープンスペース</li> </ul>
店舗が充実して おいしいまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>●：旧中の川、西野・屯田通、宮丘公園の北西のエリアなど、エリア内の色々な場所におしゃれなカフェがある。小さな名店もあちこちあって、宮の沢の魅力のひとつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市機能</li> </ul>
歴史・文化が 息づくまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>●：手稲記念館は、宮の沢の歴史を物語る施設である。敷地内には樹木もあり、オープンスペースとして活用を高めていけないか。</li> <li>●：中の川公園(旧中の川)には時習館記念碑があり、教育や文化的資源のひとつである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォークアブル</li> <li>オープンスペース</li> <li>エリアマネジメント</li> </ul>
多様な主体・ひとが 集まるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>●：地域住民、観光客、企業、各種団体など多様な主体がいて、連携できそう。</li> <li>●：暮らす、訪れる、働く、学ぶなど、色々な活動があることでまちに多様性が出る。</li> <li>●：宮の沢の魅力について、地域住民にも観光客にももっと情報発信できると良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エリアマネジメント</li> <li>情報発信</li> </ul>

## まち歩きの結果を紹介！

2024(令和6)年  
12月14日(土)実施

第1回のご意見をもとに、参加者みんなで「宮の沢で大切な場所」を確認する「まち歩き」を開催しました。下記の場所を実際に確認し、新たな発見や将来についての意見などもいただきました。



確認した場所	主なご意見	
ちえりあ広場	活用しやすくする取組	一般利用の緩和、利用ガイドラインなどの用意と情報発信 ・イベントをする際、手続きが簡易になると気軽に活用できる。
宮の沢一条通	歩きたくなる空間づくり	飲食やカフェなど店舗の充実 ・お店があると歩きたくなりそう。アート作品などの仕掛けや植栽も大切。
旧中の川周辺	水辺と調和した住環境づくり	水辺へのアクセス・親水環境の向上 ・歴史、ルートマップ、川辺までの階段、生態観察など親水できる取組などがあると良い。 ・夜は暗そうなので照明などによる工夫があると良い。
中の川公園	活用しやすくする取組	地域住民が交流できる機会(イベントなど)の創出 ・水辺広場で遊べる仕掛け、川を活用したイベントなどがあると良い。
手稲記念館	活用しやすくする取組	地域住民が交流できる機会(イベントなど)の創出と情報発信 ・施設の屋内外をもっと活用する。カフェや多世代交流の場に使っていく。 ・魅力的な施設なので、多くの人に存在を知ってもらう情報発信が大切。
中の川	整備・活用の方向性	地域住民が憩える水辺空間の整備 ・宮の沢ふれあい公園との連携、川遊びができるような親水性が高まると良い。
住宅街	宮の沢にふさわしいイメージ	建物の周りが緑化や花で彩られている ・建物外観を統一させることは難しいため、みどりや花壇で一体感を出す。 空地や空き家などが管理されている ・空地や空き家が放置されると防犯・防災面で心配なので、対応が必要。
宮の沢の将来イメージ	住民	・歴史や自然に愛着をもち、住み続けたい・戻ってきたいまち。
	働く人	・気軽なショッピングや飲食を楽しめて、日常的に賑わいがあるまち。
	観光客	・観光施設と連絡する歩行空間や自然を楽しめて、回遊性が高いまち。

※中の川、住宅街の一部、宮の沢の将来イメージについては、まち歩き時間の都合上現地での確認は行わず、写真を見ながら参加者に意見をいただきました。

## 次回のご案内&参加メンバーも募集しています！ これまで参加していない方も大歓迎！

第1回 ワークショップ	2024.11/20(水)「宮の沢全体」のまちの魅力・課題や将来イメージ
第2回まち歩き	2024.12/14(土) 宮の沢の魅力・課題を発見するまち歩き

募集中!

### 2025.2/20 (木) 18:30~20:30

まちづくりの方向性や取組のアイディアの検討(予定)

場所：  
Route148 (ルートイシャ)  
(西区宮の沢1条1丁目4-3)  
お菓子や飲み物も用意します  
お気軽にご参加ください!

お申込みはこちらから



2/19(水)まで

参加無料

Check!

## my groove

「my groove (マイグループ)」というWEBサイトでも取組の経緯や今後の見通しなどを紹介しています。

こちらで意見募集もしておりますので、ワークショップに参加できない方もぜひご覧ください。



次年度も『まちづくり指針』に関する取組を検討していきます

【リーフレットの発行・お問い合わせ先】

札幌市まちづくり政策局都市計画部地域計画課

電話：011-211-2545 (担当/佐々木、藤村、若林)

<https://www.city.sapporo.jp/keikaku/kyoten/miyanosawa.html>

宮の沢での取組



02-803-24-2659  
R6-2-1704